



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2015年6月会報 第321号

主 題 ・ 標 語

国際会長 (I P) Isaac Palathinkal (インド)

主 題: "Theme:Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」

標 語: "Do it Now"

「今すぐやろう！」

アジア地域会長 (AP) 岡野 泰和 (日本)

主 題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」

標 語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」

西日本区理事 (RD) 松本 武彦 (大阪西)

主 題: 「響き合い、ともに歩む」

"To walk together, echoing each other"

標 語: 「こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく」

六甲部長 多胡 葉子(宝塚)

主 題: 「わたしとあなたの Y'S ダムを YMCA と共に」

《ユース・交流・地域》

宝塚クラブ会長 杉谷 和代

主 題: 「Share する喜びを感じよう、その輪を広げよう！」

"Let's feel the joy of sharing, Widen the circle of it"

今月のテーマ:LT(指導者訓練)

隣れみ深い人々は、幸いである、
その人たちは隣れみを受ける。

(マタイ5章7節)

2015年6月第一例会

日 時: 2015年6月10日(水)18:30

場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間

会 費: 会員3,100円、会員外3,500円

ドライバー 吉田 明、石田由美子

開会点鐘 杉谷 和代会長

ワイズソング 全 員

聖 書 福田 肇

祈 禱 武田 寿子

ゲスト・ビジター紹介

会長・委員会報告・YMCA 報告

会 食

プログラム

「民藝運動と基督教一渡辺禎男の
型染版画の世界」

神田 健次氏

誕生日のお祝い

閉会点鐘 杉谷和代会長

2014/15 役 員	会 長 杉谷和代 直前会長 石田由美子 副会長 福田宏子、石田由美子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 六甲部部长 多胡葉子 メネット連絡 今田和子 連絡主事 谷川 尚
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 福田宏子 EMC 石田由美子 交 流 石田由美子 ファンド 三品ミチ子 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 加藤光信 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	長尾ひろみ(6月1日) 若林成幸(6月3日) 青柳美知子(6月5日)
5 月 実 績	例会出席者数 39名 在籍会員数 23名 出席会員数 19名 出席率 82.6% メイクアップ(内数) 3名 メネット 2名 コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター18名 BFポイント 5月 5,600円 累 計 41,660円 にこにこBOX 5月 3,000円 累 計 57,200円 ファンド(物品販売) 44,200円 ネパール献金 40,250円

4月第1例会報告

生きる力の育成について、 長尾メネットの熱弁を聴く

5月第1例会は、5月13日(水)18:30から宝塚ホテル、ゴールドの間にメン16、メネット2、ゲスト18、計36名が出席して盛況のうちに行われた。参会者の多くはゲストスピーカー長尾ひろみ氏のお話を楽しみにしてこられた方々とお見受けした。

初めに、杉谷会長の開会点鐘、ワイズソング斉唱、石田メンによるお祈り、会長報告などが行われ、和やかな食事・懇談へと進んだ。

その後、中教審委員であり各界で活躍されている、

長尾ひろみ氏から「スピードをあげる日本の教育改革」と題して、平成26年



12月中教審が答申した「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」に基づいて、

1. 中央教育審議会の委員になって
2. 急速な改革案
3. 学校財政の自立
4. 経済格差

5. 2004年の大綱化による教養教育の欠如を、講師の価値判断を交えてわかりやすく解説していただいた。国際社会において、我が国の諸制度の遅れが指摘され改革の必要性が高まっているなか、国民のひとりとしても改革の方向性に無関心ではいられない。殊に、3.11大災害を経験した国民として、何ごとにも予測不可能な時代にあって、主体的に判断し、行動し、共存して生きる人材をいかに育成するかということは、実に今日的な問題意識でもある。また、答申の副題に「すべての若者が

夢や目標を芽吹かせ、未来に花開かせるために」が掲げられており、答申の方向性を吟味し、その功罪を予測しつつ、次代にふさわしい人材の育成により強い関心を持たなければならないと思った。時間の制約上、用意されたレジメ全体にまで話が及ばなかったが、お話の続きや講師の存念を聴かせて頂きたく、再登板を願うものである。

続いて、去る4月25日発生のネパール地震の被災者緊急支援募金の呼びかけがあり、席上募金40,250円が捧げられた。後刻、神戸YMCA → YMCA 同盟を通じ、現地の人々の緊急支援と共に、中長期的な復興を視野に入れた
(遠藤通寛次期理事訪問)支援活動に用いられる。



この後、お誕生会を行い、多くのゲストとともに過ごした豊かな夕べのひとつ時を感謝し、会長の点鐘で閉会した。

若林成幸

会長報告

新緑の緑が一層濃くなり爽やかな季節のはずが、早くも連日の真夏日にうんざりし、日本列島が heat island になる日もそう遠くないと感じます。ブリテン6月が皆様の手元に届くころには、今期最後の大会イベントバザーも無事終わり全員が達成感と安堵感に浸っていることでしょう。今月は宝塚クラブのIBC、Yakima Y Service Club の活動をご紹介します。毎月第二木曜日 6:30pm ~ 主にYMCA で例会を開きます。しかし時々会長宅で食事つき例会があります。その時はそれぞれアサイメントに応じた食べ物(サラダ、メイン、デザートなど)を持ってくる必要があります。1月には Yakima に新入会員が1名ありました。

私たち日本でYMCAとY'sの協賛で毎年イベン

トを行うように Yakima でも幾つかのイベントがブリテンで記事になっています。その一部をご紹介しますと、恒例になっているのは1月16～24日の Book-A-Rama(古本販売)と3月27日の Canyon マラソンのスパゲティーサービスです。マラソンが行われる前夜に参加者にスパゲティーを振る舞う計画です。4月のブリテンにその報告がありました。何故か今年は参加者が例年より少なく、スパゲティーの売れ行きも少なかったという結果でした。この計画は毎年クリスチャンモーターサイクルクラブの手伝いがあり、売り上げは彼らとシェアし彼らのファンドレイズにもなっているとのこと。売上金は日本円で約12万円、その内約5万円をクリスチャンモーターサイクルクラブに渡すと言います。他に嬉しいニュースは、いつも yakima からブリテンを送って下さる Wayne Smith さんが Melvin Jones Fellow Award を受賞されました。この賞は Y's と同じ時代に Melvin Jones によって創設された Lion's クラブにとって、メンバーに与えられる国際賞としては最高の荣誉ある賞だそうです。Congratulations for your award, Wayne! おめでとうございます。

杉谷和代

5月第2例会報告

5月20日(水)18時30分から宝塚西公民館にて5月第2例会が行われ、杉谷会長、吉田、長尾、堀江、加藤、多胡、石田、福田宏子、武田、青柳、鯖尻、若林各メン、谷川主事、今田メネットの14名が出席した。議事要旨は次の通り。

1. バザーについて

バザー委員長の加藤メンから準備状況の点検と実施内容・役割分担の確認が行われ、バザーの成功を願いワイズ・リーダーの健闘協力を誓った。

2. 西日本区大会 DBC 交流会について

大会参加者9名、内フェローシップアワーへの参加者8名を確認し、岩国クラブ・鹿児島クラブとの交流を促進することを了承した。

3. 会計報告

会計担当の吉田メンから2014年度会計の決算予想と2015年度会計予算の概要説明があった。検討中に、「ニコニコ献金」の活性化が話題になり、今後、例会では「ニコニコの所以」を披露し参会者と喜びを共有した上で献金を行うという運営に改めることとした。その他若干の修正を行って7月総会に提案することを了承した。

また、休会中であった井上聖メンの復帰が報告され、了承した。

4. 6月例会について

6月例会は、2014年度年活動総括、ゲストによる講演の2本立てとする。神田健次先生(関学大、神学部教授)を迎え、「人間運動とキリスト教」と題して講演を予定。その後、各委員会の活動実績を報告する。各会委員長は書記が提示する様式に従って報告書を準備すること。

5. 2015/16 ロースター発行に備え記載内容の確認を行った。

6. YMCA チャリティーラン(11月3日開催)について6月5日(月)第1回実行委員会が行われる。

7. 3クラブ合同例会について

鯖尻次期会長から、大阪セントラルクラブと大阪なかのしまクラブから3クラブ合同例会開催の打診があったことが報告された。3クラブとも次期会長が女性ということで共有したとのこと。開催時期は別途調整をすることで了承した。

8. 「大地のめぐみ」豚肉販売について

先に、多胡メンの世話で、阿蘇くまもと「大地のめぐみ」ポークのセットを試験購入したが、好評であったのでファンド対象品として継続購入の提案があり、了承した。商品の組み合わせ

せは多胡メンに一任。これを踏まえ、次期ファンド会計予算の物品販売収入を5万円増額することとした。

9. ブリテン委員の長尾メンから

ブリテン6月号の編集方針・寄稿分担・日程等が示され、これを了承した。また、英文ブリテン作成の協力要請があった。

若林成幸

神田健次氏プロフィール

1948年新潟県新発田市生まれ。関西学院大学神学研究科博士課程修了。ミュンヘン大学神学部ベルン大学神学部客員研究員を経て、現在、関西学院大学神学部教授。神学博士。

著書：『現代の聖餐論—エキメニカル運動の軌跡から』、編著『講座



日本のキリスト教芸術 ◆ 美術・建築』、共著『ミナト神戸の宗教とコミュニティー』、『渡辺禎雄聖書版画集』（収録論稿「型染版画に託した夢～渡辺禎雄の信仰と作品」新教出版社2013年）、その他。

多胡六甲部長の開会点鐘、挨拶から始まりワイズソング斉唱、次期部長の進藤啓介氏より挨拶のあと部長方針の説明がありました。



(鯖尻次期会長)

部長主題は「YMCAと共に」次世代を育み・地域に仕える。ユースとYMCAスタッフとの交流をさらに「深化・進化」させていきたいと述べられました。

それぞれの役員は隣同士に座り情報交換後次期事業主査活動方針が発表され、引続き次期各クラブの会長が活動方針を発表しました。



(福田素子次期メネット主査)

次期六甲部の運営について懇談後、いざ立て、YMCAの歌を歌い来期に向けての思いを新たにしていきました。

鯖尻佳子

岡山クラブ50周年記念例会に参加

六甲部2015～2016年度 準備役員会

5月9日(土)13時半より神戸勤労会館に於いて六甲部2015～2016年度の準備役員会が開催されました。宝塚クラブからは役員として多胡さん、若林氏、堀江氏、長尾氏が出席。またメネット事業主査として福田素子さん、そして次期会長の私鯖尻が出席しました。

5月23日岡山国際交流センターで行われた岡山クラブ50周年記念例会に宝塚クラブから多胡、長尾、福田ヒ、堀江の4名が参加しました。個人的なことで申し訳ありませんが、



(岩国クラブ辻ワイズと一緒に)

岡山は私が就職し最初に配属された工場のある土地で、1959年のこと、岡山クラブチャーターより6年程前になります。その後1970年、1993年と計3

回、延べ9年程過ぎましたので、岡山は第2の故郷のような懐かしいところです

第1部は「沢 知恵コンサート」、以前神戸YMCAで中道基夫理事長から沢さんの歌

[The Line]を紹介され早速CDを購入したことを思い出し、今日の演目リストにあるのかなと気にしながら聴いていたのですが、嬉しいことに「The line」がフィナーレでした。

第2部は記念礼拝に続いて記念例会があり、その中で岡山クラブ 50年の御苦労と頑張りがなんと手造りの「紙芝居」スタイルで出てきました。映像演出を見慣れている

私たちに素晴らしいインパクトを与えてくれ、しかも今また元気なクラブに立ち戻っておられる様子に心温まる気持ちになりました。



第3部懇親会は会場がイベントホールに移り、130名の多数の参加を得て盛大に、賑やかに、楽しい会となりました。松本武彦理事、遠藤通寛次期理事の他多数の元理事が参加されて、岡山クラブの歴史の長さを思いました。

堀江裕一

最近では蚤の市の寄贈品・ラッキー抽選券の協賛品に減少傾向が見られる。その反省を踏まえてYMCA リーダーとメンバーが「やる気・元気・楽しさ」を共有して例年より早めの取り組みを行った。多くの人々に寄贈品・協賛品の提供呼びかけ、市広報版へのポスター掲示等の努力が実りました。当日は各コーナーでのリーダーの活躍がより活力を生み楽しいバザー日と成った事に感謝致します。

加藤光信

(バザー風景)

蚤の市、アイスクリーム、焼きそば販売



西宮 YMCA リーダー販売とゲームコーナー



第28回チャリティーバザー

ワイズメンズクラブの目的の第1として YMCA のサービスクラブとして活動することがあがっています。例年 YMCA とワイズメンズクラブが協働して行うバザーは、第28回目を迎えました。5月30日(土)カルチェヌーボ宝塚・逆瀬川で開催を行ったところ、多くの人々の来場を得て盛会裏に終える事が出来ました。

【今月のみ言葉】

YMCA だより



五番目の幸いの言葉は、憐み深い人々の幸いについて語っています。まず、注意しておきたいのは、日本語の「憐れむ」という言葉がもっている独特の響きです。この言葉はおうおうにして、困難な状況にある他者に対して、一段高い所から(それこそ上から目線で)憐みの感情を抱くというような意味で用いられているように思います。

しかしながら、聖書における「憐れむ」という言葉は、上位の者が下位の者を憐れむという意味ではありません。そうではなく、困っている他者と同等の立場に立って同じ思いとなり、その悲しみや苦しみに共感することをこの言葉は意味しています。すなわち、他者の持つ悩みや困窮を親身に受け止め、他者に思いやりを示すことができる人、そういう人こそが幸いだと述べられているのです。

そして、そのような憐み深い人は憐みを受けると述べられています。もっとも、ここでは、自分も将来、他人から憐みを受けることができるように、他人に対して今から憐れみ深く振る舞っていくべきだということが言われているわけではありません。そうではなく、そのように他者に対して憐れみ深い態度を取ることができる人は、実際にはすでに神から憐みを受けており、すでに神の恵みに気づいている人だということが言われているように思えます。だからこそ、そのような人は他者に対して憐れみ深く接することができるのであり、だからこそ幸いだと言われるのです。

嶺重 淑

1. リーダー委嘱式、開催

去る5月17日(日)にボランティアリーダーのトレーニングと委嘱式が行なわれました。例年リーダーの皆さんには子どもたちのためにご奉仕いただくと共に、彼ら自身の大きな成長のための活動になるよう学びの機会をと行っていますが、今年は県内の青少年団体にも呼びかけ多くの方の参加を得て、子どもたちの豊かな成長のために時間を過ごすことができました。またこの委嘱式はワイズの皆さんのお支えいただき運営されています。ご支援ありがとうございました。

2. 神戸YMCA創立記念日礼拝、キリスト教青年会総会開催

5月は2014年度を締めくくる季節でもあり、各法人では決算報告や事業報告の準備と実施で忙しいときを迎えていました。今年度は三宮新会館準備のために「本館」を持たない中で、様々な行事を迎えています。5月8日に行われた創立記念日礼拝、また5月29日に行われた総会は、近隣の教会や地域の施設を利用する中で、例年通りに行うことができました。総主事も代わる中で大きな変革のときを迎えていますが、多くの協力のおかげで昨年度の振り返りと新しい歩みを迎えられ感謝です。

3. 三宮会館の進捗状況

三宮会館ですが、いよいよそのあとを残すことなく解体工事が終了しました。南側の土地にはまもなくマンションの建設が始まろうとしています。そして新会館が建つ予定の北側ですが、現在工事業者との折衝も大詰めを迎えており、設計の詳細な打合せを行っています。この秋ごろからいよいよ建設が始まりますが、この遠い先の未来にあるべきYMCAの姿を考えながら、多くの委員や有志方々のご協力で、共に夢を描きながら図面を画いているところです。